

令和5年度事業報告

当シルバー人材センターは、長い人生の中で培った豊富な知識や経験及びその能力を活かして地域社会のために役立ちたいというシルバー会員の意思を尊重し、基本理念「自主・自立・共働・共助」を念頭において就業を通じて健康促進と生きがいの充実を図っていただくために、シルバー会員の拡大と新規事業の開拓に努めてまいりました。

令和5年度は新型コロナウイルス感染予防対策による影響はほとんどありませんでしたが、除草作業は夏季の熱中症対策で受注制限をしたこと、剪定は就業会員2名が病気等で就業できなかった影響もあり例年より作業に遅れが生じ、受注件数が前年度より43件減少しました。

派遣事業では、前年度に各種価格の高騰による影響でスーパー及び事業所への派遣が3件減となったまま回復することはなく、また新規の受注もなかったことから、前年度を下回る結果となりました。

前年度に対して受注件数は減少となりましたが、最低賃金や価格高騰が多方面に広がる中、従来と変わらぬご支援をいただきました町当局ならびに事業所、一般家庭の発注者皆様方に深く感謝いたします。

会員の安全就業については、事故0を目指して安全就業対策の強化に取り組みましたが、傷害事故1件、賠償責任事故6件、車両運転による事故1件が発生しました。

今後も事故0を目指すとともに、熱中症や感染症対策に取り組み、法令を遵守し地域の皆様から信頼されるシルバー人材センターとなるよう一層努力してまいります。

以下、令和5年度の事業実績についてご報告いたします。

1. 就業の機会を確保し、及び組織的に提供する事業

令和6年3月31日現在の会員数177名(前年度167名、10名増)

シルバー人材センター事業の推進を図り、事業所、一般家庭、公共等から、受注件数797件(前年度840件、43件減)、就業延人員21,035人日(前年度22,055人日、1,020人日減)、就業率92.1%(前年度95.8%、3.7%減)、配分金総額69,661,217円(前年度68,204,877円、1,456,340円増)のお仕事をいただきましたが、コロナ禍で就業が

厳しい中、最低賃金を考慮して配分金単価が増額改定された分、前年度を上回る結果となりました。

平成25年度から実施しているワンコインサービスは24件(前年度20件、4件増)のお仕事をいただきました。

7月と12月に習字教室を延4日間開催し、9名の児童が受講し好評を得ました。

2. 就業機会を確保するために行う大治町の公の施設の指定管理業務

大治町から総合福祉センター「希望の家」2階高齢者生きがい活動センターの指定管理を受託して施設を活用し、会員の利便や就業機会の増加を図りました。

3. 職業紹介事業

求人1件8名の求人に対して求職8名の実績。(前年度求人・求職共に0件)

4. 労働者派遣事業

愛知県シルバー人材センター連合会との連携のもと、派遣希望会員をスーパーへ派遣し、派遣件数12件(前年度17件、5件減)、延派遣人員1,136人日(前年度1,329人日、193人日減)、契約金額2,837,782円(前年度3,571,204円、733,422円減)の実績。前年度に各種価格高騰の影響を受け派遣打切りが3件ありましたが、回復することはなく、新規の受注もなかったことから前年度を下回る結果となりました。

5. 就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行う事業

就業の機会につなげていくことを目的に、経験のある会員を講師として手芸やろまい会の1日体験教室を(年1回、参加者延1名)を開催しました。

海部地区シルバー人材センター会員合同研修会の参加を予定していましたが、海部地区シルバー人材センター事務研究会での協議により今回から廃止となりました。

6. 就業に関する調査研究及び相談を行う事業

就業・会員拡大委員会による会員向けアンケート調査「就業ニーズ等の調査」を実施したところ54名から回答があり、今後の就業・会員拡大に役立ちました。

入会説明会(年25回、52名参加)の開催により、27名の入会がありました。また、入会希望者との相談の場の開設、会員に対する就業相談を随時実施しました。

7. 安全かつ適正な就業を推進するために事故防止の啓発等を行う事業

安全意識の共有のため、安全・適正就業委員会(年5回)の開催、安全・適正就業委員による安全・適正就業パトロール(年2回、剪定2ヶ所、除草2ヶ所の就業現場の巡回)を実施。また安全就業標語(応募77件)の募集により、安全・適正就業の啓発を図りました。

令和5年度安全就業標語最優秀賞 『一瞬の心の緩みが事故の元』

8. センターの活動等について周知を図る事業

機関紙「センターnews」(年6回)の発行、会員紹介運動(年1回)の実施、会員募集チラシ(年4回)の回覧、ホームページ及び町広報紙の随時活用により周知を図りました。

9. その他センターの目的を達成するために必要な事業

10月の全国シルバー人材センター事業協会が掲げる普及啓発強調月間に合わせて清掃ボランティア活動(33名が参加)及び女性限定脳トレサロン「ぷらっといこまい」(20名が参加)を実施しました。

女性委員会による料理講習会、生活支援講習会は新型コロナウイルス感染予防のため自粛いたしました。

認知症予防体操の練習会を1月に実施し、5名が参加しました。

革工芸やろまい会を年11回実施し、延べ55人が参加しました。

生活支援体制整備推進協議会に(年9回)参加し、他の福祉団体と連携を図りました。